

議会報告・意見交換会 産業建設分科会 ブロック別中間報告 【 遠山ブロック 】

2020/12/24

飯田市議会 産業建設委員会

1 総括

- ア 今年度7つのブロックで開催した第3分科会、産業建設分科会のテーマや所管する分野等に対して、ご参加いただいた皆さんのご意見やご要望は147件ありました。(昨年2019年度は290件)
- イ そのうち上村と南信濃の遠山ブロックでは、25件のご意見・ご要望がありました。
- ウ 遠山ブロックの分科会テーマは、「遠山郷の観光振興」を設定して意見交換を行いました。
- エ 今年度4月より指定管理から市の直営となった「かぐらの湯」をはじめとした市の指定管理施設等の運営状況や検証などについて多くの意見がお寄せいただきました。
- オ 分科会でいただきましたご意見につきまして、現在のところ、以下のように分類させていただきます。

A	委員会の所管事務調査として扱うもの、あるいは委員会の調査研究に生かすもの
B	予算審査などにおいて所管部署への質疑などに生かしていくもの
C	市の担当部署へ聞き取りして、回答・報告するもの(中間報告の扱い)
D	市の担当部署へ聞き取りして、回答・報告するもの(年度末報告の扱い)
E	市に申し送るとともに今後市に聞き取りしていくもの ※市へ申し送ったのち、聞き取り等の結果に応じて、今後Dとする場合あり
F	その他、ご意見ご要望としてお聞きしたものの、 分科会のなかでやり取りのあったご意見など

- カ また、当委員会では、遠山郷の指定管理施設の運営状況について、所管事務調査テーマとして昨年度より政務調査などを行うとともに、予算審議などにおいて附帯決議するなど、集中的、重点的に扱ってきています。この中間報告の段階においても、施設の状況調査や関係団体との懇談、さらにはこれまでに委員会から市役所担当部署(産業経済部)へ提案した内容に対する検証などを進めています。

2 <A>及びの扱いのご意見等について

- かぐらの湯について、11月までに次の指定管理者を見つけるのには無理がある。

B(委員会審査等における確認事項)

- ・今後の議案審査や委員会への説明に対する質疑に生かしていきます。

- フグ養殖については、振興公社と補助金を出した市の責任であり、地元地域の問題ではない。そのチェック機能を持っているのは、議会ではないのか。

A(委員会の調査研究対象)

トラフグ養殖については、「かぐらの湯」を市の直営としたいとする議案に対して、これまでの指定管理の検証とともに、責任の所在の明確化について附帯決議してきています。

また、委員会の所管事務調査としても扱ってきており、今後の市からの報告を受けて、チェック等していきます。

- かぐらの湯他、指定管理者制度での運営や経営責任の所在等について、問題が顕在化してきた。従来の指定管理者制度が時代に合わなくなってきた。経営責任を地元地域に任せるといえるのはどうか。
- フグの施設について、事業主体と行政のチェックは議会が主体的に検証する事案と考えます。

A（委員会の調査研究対象）

これまでの指定管理の検証とともに、責任の所在の明確化を議案審査等において附帯決議してきました。また、委員会の所管事務調査としても扱ってきました。今後の市からの報告を受けて、チェック等していきます。

- 一般質問、委員会質問の結果を求めるとともに、不十分なら再度の質問を次回の議会で行うことを要望します。振興公社の理事長は情報開示をしなかった。また、相談する人がいなかった。市職員、理事、地域住民は騙されていた。
- 遠山郷の観光振興は長野県、飯田市にとって大きなウエイトを持ちます。リニア・三遠南信の開通時には長野県の玄関口となります。かぐらの湯、しらびそ高原天の川は集客できる施設となります。ぜひ指導協力願いたいと思います。指定管理制度の見直しをされたい。

A（委員会の調査研究対象）

遠山郷の指定管理施設の運営に関しては委員会の所管事務調査とし扱い、調査結果を報告しています。引き続き、遠山郷の観光振興などについて委員会や協議会において執行機関から状況報告などを受けて監視等していきます。会議の状況などは、ユーチューブやホームページで公開等しています。

3 <C>市役所の担当部署へ聞き取りしたもの（中間報告の扱い）

- 大島河原のキャンプ場の受け入れ再開について、国交省の見解は

C（市役所担当部署からの聞き取り）

大島河原の上流部にあるキャンプ場の給水施設が、7月豪雨の土石流により被災したため、国交省及び森林管理事務所から給水施設設備の復旧後の再開にあたっては安全の確認とともに慎重な判断をするよう依頼があったと聞いています。再開の判断は、施設設備の復旧などと合わせ今後の状況に応じて市が行いますが、現在は冬季休業（市条例により11月1日から4月第3金曜日まで）しています。（担当課：観光課）

- 三遠南信道の氏乗インターの開通予定は

C（市役所担当部署からの聞き取り）

三遠南信自動車道飯喬道路3工区における氏乗インターチェンジ（仮称）の開通、供用の見通しは未定です。

飯喬道路3工区工事は、山間地の尾根を伝い、橋りょう9箇所、トンネル11カ所を含む内容となっており、平成26年度より順次進められています。工事状況は、国土交通省中部地方整備局飯田国道事務所のホームページで公表していますのでご確認ください。（市担当課：国県関連事業課）

4 <F>その他、分科会のなかでやり取りのあったご意見など

- 産建委員会には遠山郷に何度も来ていただきありがたい。
- かぐらの湯検証委員会でも税理士に相談し、経営分析を行っている。まずは検証する必要があり、現状把握には時間を要す。
- 観光課だけでなく、当初から金融政策課の指導があればよかった。縦割り行政を打破してほしい。
- かぐらの湯の本格再開について、揚湯工事に関わる紛争審議、引きあげるにしても新規に掘削するにしても、中橋の復旧にも時間がかかる。手立てはないか。
- 温泉施設は、来客の多少に関わらず固定費がかかる。
- 補助金を出す課とその採算性を判断する課といった、行政内の横の連絡がとられていないことが原因ではないか。
- しらびそ高原は県外客が9割。新型コロナが終息し、大型バスが入らないとどうにもならない。
- 黒字のキャンプ場が開けなかったことが経営を苦しめている。
- しらびそとかぐらは遠山観光の両輪で、片方だけ良くて悪くてもダメだと思う。
- コロナの影響により、積極的に誘客ができない。
- リピーターのお客さんへの満足度の低下。最優先は、道の駅直売機能の再開。
- 団体旅行から急速に個人・グループ旅行への転換が見込まれ、口コミや顧客満足度が問われる。
- コロナ終息後を見据え、遠山郷を何度も訪れてくれるコアなファンを作りたい。
- 三遠南信道開通を見据え、長野県の入り口として周辺地域との観光的連携を深めていきたい。
- かぐらの湯（再開）温泉で。
- かぐらの湯は、南信濃にとって大切な施設です。地域でも努力しているのでお願いします。
- 経営能力の補完について議論を深めていきたいと思いました。

議会報告・意見交換会の分科会テーマなどに対して、多くのご意見等をいただきました。今後の委員会において、参考とさせていただきます。

議会報告・意見交換会 産業建設分科会 ブロック別中間報告 【 中部ブロック 】

2020/12/24

飯田市議会 産業建設委員会

1 総括

- ア 今年度7つのブロックで開催した第3分科会、産業建設分科会のテーマや所管する分野等に対して、ご参加いただいた皆様のご意見やご要望は147件ありました。(昨年2019年度は290件)
- イ そのうち松尾地区と鼎地区の中部ブロックでは、30件のご意見・ご要望がありました。
- ウ 中部ブロックの分科会テーマは、「道路整備や災害対策から地域を考える」を設定して意見交換を行いました。
- エ 本年(2020年)7月の豪雨から災害復旧や河川などの対策に関するもの、これまでも地域において懸案とされている道路整備に対するものなど、多くのご意見ご要望をお寄せいただきました。
- オ 分科会でいただきましたご意見につきまして、現在のところ、以下のように分類させていただきます。

A	委員会の所管事務調査として扱うもの、あるいは委員会の調査研究に生かすもの
B	予算審査などにおいて所管部署への質疑などに生かしていくもの
C	市の担当部署へ聞き取りして、回答・報告するもの(中間報告の扱い)
D	市の担当部署へ聞き取りして、回答・報告するもの(年度末報告の扱い)
E	市に申し送るとともに今後市に聞き取りしていくもの ※市へ申し送ったのち、聞き取り等の結果に応じて、今後Dとする場合あり
F	その他、ご意見ご要望としてお聞きしたもの、 分科会のなかでやり取りのあったご意見など

- カ 当委員会では、所管事務調査テーマとして「遠山郷の指定管理施設の運営状況」を集中的・重点的に扱ってきていますが、今年度の議会報告・意見交換会の分科会のブロック別テーマにつきましても、地域の重要な課題として委員会としては捉えています。今回の中間報告の以降も、委員会における議案審査や協議などを通じて執行機関側や関係機関等へ確認等していきます。

2 <A>及びの扱いのご意見等について

- 集中豪雨時の生活道路、排水路について、今回の豪雨で井水の越水と、住宅被害があった、生活道路など生活に根差した細かい所に、産業建設委員会として対応をお願いしたい。

B(委員会審査等における確認事項)

- ・今後の議案審査や委員会への説明に対する質疑に生かしていきます。

3 <C>市役所の担当部署へ聞き取りしたもの(中間報告の扱い)

- 母子ヶ谷に非常排水門を整備してください

C(市役所担当部署からの聞き取り)

排水門等の整備については、排水先等の調査・調整も必要です。市役所担当課より区の役員など地域の皆さんと相談させていただくとともに、担当職員が現地を確認していきます。(市担当課：土木課)

○県道青木東鼎線の車川対策（大雨出水時の対策）

C（市役所担当部署からの聞き取り）

危険な個所等がありましたら、地区要望として各地区自治振興センター経由して市役所担当課へご提出ください。担当職員が現地の確認に参ります。また、県道の改修に伴う下流域の対策や対応については、議会の一般質問でも取り上げ、出水時対策の検証を進める予定を聞いています（市担当課：土木課）

○当地区でも大雨の度床下浸水する場所があります。早急の改善を希望します。今までの井水を排水路として使用しており、排水路をどうするのか方針を示していただければと思います。

C（市役所担当部署からの聞き取り）

詳細な場所の特定できていませんが、松尾城地区につきましては、市役所担当課において地域の役員の皆さんと現地確認をしております。

また、担当課では令和2年度に排水路の高さ等の調査を実施して対応策を検討する予定です。（市担当課：土木課）

○鷺流峡の拡幅について、今年の豪雨における流量などの数値は出ているか（拡幅分、水位が低くなったように感じるが）

C（市役所担当部署からの聞き取り）

川幅が狭く、過去の大きな氾濫の原因となっていた鷺流峡付近の治水対策は、天竜川上流河川事務所（国土交通省中部地方整備局）が協議会などを通じて地域の意見を聞き、情報共有・連携しながら進められてきています。

天竜川上流河川事務所によると、鷺流峡掘削では、河川整備計画で目標としている戦後最大規模相当の洪水（毎秒約4,000m³）が流下した場合、鷺流峡上流で約70cmの水位低下効果を見込んでいます。今年の7月豪雨では毎秒約2,000m³程度の洪水となり、鷺流峡上流では鷺流峡掘削による水位低下効果があったと推定されているところです。また、河川の水位情報などはインターネットサイトの「長野県河川砂防情報ステーション」や「国土交通省 川の防災情報」で随時公開されています。また、天竜川上流河川事務所のホームページでは河川・砂防施設管理用カメラ（CCTV）の画像も公開されていますのでご活用ください。（市担当課：国県関連事業課）

4 <E>市に申し送るとともに今後市に聞き取りしていくご意見など

※市へ申し送ったのち、聞き取り等の結果に応じて、今後Dとする場合あり

○羽場大瀬木線開通について、体育館前の渋滞解消されている点は感謝する。しかし、通行車両の速度が上がり非常に危険である、交差点の信号機についても南北方向において右折信号がない、通学路でもあり子どもの安全や接触事故などの危険性もある、スクランブル交差点と右折信号の設置をお願いしたい。（鼎）

○弁天橋から鼎への道路と、151号線八幡交差点について、測量中であるが、できるだけ早く工事をして頂きたい。（松尾）

○鷺流峡、気賀沢川、内水排除のポンプアップについて、地域計画課と話をする中で、100年・1000年に一度の豪雨が頻発することを考えると、固定式のポンプを検討いただきたい（市の中で解決できる方法を検討いただきたい）（松尾）

○生活道路整備、井水管理について市としてしっかり対応していただきたい。（鼎）

○雨水の排水について、市としては浸透枿をお勧めしているが、豪雨に対応した浸透枿の設置をお願いしたい。(県)

5 <F>その他、分科会のなかでやり取りのあったご意見など

○ほっ湯アップルも20年経過してかなり老朽化しています。いろいろな補修は市にお世話になっておりますが、全体的に大規模の改修の検討をお願いしたい。(松尾)

○県下山線の工事測量について、入口については拡幅されるが、出口は拡幅されない、踏切拡幅のために陳情活動をして頂きたい。(県)

○産業道路の整備についても引き続きお願いしたい。リニアが開通したら、上郷と一緒に検討・要望したい、このことについて産業建設委員として、建設部へ考え方を示して頂きたい。(松尾)

○リニア関連事業、妙琴、JR工事車両の待避所の件について、道路改良ができればよいが、実際は難しいと聞いている、地域として通学路の全体の見直しと、子どもたちの帰宅時間には警備員を配置した。(住民からの報告事項) (県)

○排水について、川を造るわけにもいかない、道下の排水も検討してほしい、身近な問題として捉えて頂きたい。(松尾)

議会報告・意見交換会の分科会テーマなどに対して、多くのご意見等をいただきました。今後の委員会において、参考とさせていただきます。

議会報告・意見交換会 産業建設分科会 ブロック別中間報告
【西部ブロック】

2020/12/24

飯田市議会 産業建設委員会

1 総括

- ア 今年度7つのブロックで開催した第3分科会、産業建設分科会のテーマや所管する分野等に対して、ご参加いただいた皆様のご意見やご要望は147件ありました。(昨年2019年度は290件)
- イ そのうち山本地区と伊賀良地区の西部ブロックでは、15件のご意見・ご要望がありました。
- ウ 西部ブロックの分科会テーマは、「道路整備や公共交通から地域を考える」を設定して意見交換を行いました。
- エ 本年(2020年)7月の豪雨の災害復旧対策に関するもの、飯田南バイパスや地域産業対するものなど、多くのご意見ご要望をお寄せいただきました。
- オ 分科会でいただきましたご意見につきまして、現在のところ、以下のように分類させていただきます。

A	委員会の所管事務調査として扱うもの、あるいは委員会の調査研究に生かすもの
B	予算審査などにおいて所管部署への質疑などに生かしていくもの
C	市の担当部署へ聞き取りして、回答・報告するもの(中間報告の扱い)
D	市の担当部署へ聞き取りして、回答・報告するもの(年度末報告の扱い)
E	市に申し送るとともに今後市に聞き取りしていくもの ※市へ申し送ったのち、聞き取り等の結果に応じて、今後Dとする場合あり
F	その他、ご意見ご要望としてお聞きしたもの、 分科会のなかでやり取りのあったご意見など

- カ 当委員会では、所管事務調査テーマとして「遠山郷の指定管理施設の運営状況」を集中的・重点的に扱ってきていますが、今年度の議会報告・意見交換会の分科会のブロック別テーマにつきましても、地域の重要な課題として委員会としては捉えています。今回の中間的報告の以降も、委員会における議案審査や協議などを通じて執行機関側や関係機関等へ確認等していきます。

2 <A>及びの扱いのご意見等について

- 航空産業はコロナ禍で世界的に厳しい中、エス・バードは大丈夫か(山本)

B(委員会審査等における確認事項)

- ・今後の議案審査や委員会への説明に対する質疑に生かしていきます。

- エス・バードは帰ってこられる産業をつくれるか(山本)

B(委員会審査等における確認事項)

- ・今後の議案審査や委員会への説明に対する質疑に生かしていきます。

3 <C>市役所の担当部署へ聞き取りしたもの（中間報告の扱い）

- 7月豪雨の復旧・改良が遅い（ブルーシートがかぶったままで、見にも来ない）（伊賀良）

C（市役所担当部署からの聞き取り）

災害復旧対応は被災の通報を受けたのち、現地確認→現地測量設計→県との調整→国の現地査定（10月～11月中旬）→積算・発注と、進められています。小規模なものについては、市役所より業者に依頼して随時復旧を進められている状況です。（市担当課：土木課）

- 災害要望箇所。①新川、三日市場東部、護岸崩落2か所あり②新井原地籍、山間部数か所あり（伊賀良）

C（市役所担当部署からの聞き取り）

県管理河川の関係もあり、調査・調整等しながら、市役所担当課により個別対応が進められています。（担当課：土木課）

- 6月の豪雨による災害復旧について、下殿岡新川護岸（県の管轄）○○さんの裏の護岸を早急に工事着手してほしい（伊賀良）

C（市役所担当部署からの聞き取り）

下殿岡新川の護岸普及については、市が県と連携して護岸及び頭首工の復旧を実施します。復旧工事の実施にあたりましては、地元関係者をはじめ、市役所担当課や長野県が調整等しながら進められます。（担当課：土木課）

4 <E>市に申し送るとともに今後市に聞き取りしていくご意見など

※市へ申し送ったのち、聞き取り等の結果に応じて、今後Dとする場合あり

- エス・バード高速温度変化試験装置などの使用料は（山本）
- 殊に杵原学校へのアクセスが悪い（これから行うクラフトフェアで利便性の状況把握し、報告したい）（山本）
- 市の計画するリニア整備道路に飯田IC以南の計画が無い（山本）
- 西部山麓線の乗り合いタクシーなど公共交通は不便である（箱川発必要等、本数が足りない、伊賀良地区との温度差あり）（山本）

5 <F>その他、分科会のなかでやり取りのあったご意見など

- 南バイパス現状ルート未確定、リニア開業に間に合うのか（伊賀良）
- 南バイパス（二つ山トンネル）とともに地域の使いやすい道路アクセスを希望する（山本）
- 道路計画は時間軸で考えてくれ（山本）
- 企業誘致にもっと力を注ぐべき（山本）
- リニアトンネル工事の発生土を産業活性化のため有効に使うべき（山本）
- 南バイパスの早期実現と、周辺の土地利用を検討し、使いやすい道路の実現をお願いします。（山本）

議会報告・意見交換会の分科会テーマなどに対して、多くのご意見等をいただきました。今後の委員会において、参考とさせていただきます。

議会報告・意見交換会 産業建設分科会 ブロック別中間報告 【 北部ブロック 】

2020/12/24

飯田市議会 産業建設委員会

1 総括

- ア 今年度7つのブロックで開催した第3分科会、産業建設分科会のテーマや所管する分野等に対して、ご参加いただいた皆さんのご意見やご要望は147件ありました。(昨年2019年度は290件)
- イ そのうち座光寺地区と上郷地区の北部ブロックでは、24件のご意見・ご要望がありました。
- ウ 北部ブロックの分科会テーマは、「リニア駅周辺整備や座光寺スマートIC事業からリニア時代の地域を考える」を設定して意見交換を行いました。
- エ テーマに応じて、乗り換え新駅やリニア中央新幹線に関するもの、座光寺スマートICに関する事など、多くのご意見ご要望をお寄せいただきました。
- オ 分科会でいただきましたご意見につきまして、現在のところ、以下のように分類させていただきます。

A	委員会の所管事務調査として扱うもの、あるいは委員会の調査研究に生かすもの
B	予算審査などにおいて所管部署への質疑などに生かしていくもの
C	市の担当部署へ聞き取りして、回答・報告するもの(中間報告の扱い)
D	市の担当部署へ聞き取りして、回答・報告するもの(年度末報告の扱い)
E	市に申し送るとともに今後市に聞き取りしていくもの ※市へ申し送ったのち、聞き取り等の結果に応じて、今後Dとする場合あり
F	その他、ご意見ご要望としてお聞きしたもの、 分科会のなかでやり取りのあったご意見など

- カ 当委員会では、所管事務調査テーマとして「遠山郷の指定管理施設の運営状況」を集中的・重点的に扱ってきていますが、今年度の議会報告・意見交換会のブロック別テーマにつきましても、地域の重要な課題として委員会としては捉えています。今回の中間的報告の以降も、委員会における議案審査や協議などを通じて執行機関側や関係機関等へ確認等していきます。

2 <A>及びの扱いのご意見等について

- 地元へ情報が出てこない。地元の意見が吸い上げられていない。説明もない(座光寺)
- 風越山トンネル、R153飯田北改良の説明がなされていない(座光寺)
- その他工事の途中経過の説明が1年以上なされていない。各事業の進捗状況が判らない(座光寺)

B(委員会審査等における確認事項)

情報不足、情報発信の強化や充実に関しては、議会からも提言してきています。提言内容の実行を引き続き確認していきます。

- リニア新幹線を通るその周辺の景観もともに考えていただきたい(座光寺)

B(委員会審査等における確認事項)

これまでの産業建設委員会において「道と景観」についての調査研究してきています。景観を生かした地域経済の振興は重要と考えています。

3 <C>市役所の担当部署へ聞き取りしたもの（中間報告の扱い）

- スマートインター全てつながらないうちに開通となるが、対策はできているのか。県道との交差点での渋滞発生や、果樹園地帯のため消毒の散布や農耕車の通行など影響が考えられる（座光寺）

C（市役所担当部署からの聞き取り）

座光寺スマートICは令和3年3月の供用開始に向けて工事が進められています。

飯島飯田線の原交差点については、公安委員会とも協議する中で事前に信号の時間を調整していただくこととなっています。その後も、交通の状況を見ながら調整する予定です。また、座光寺宮崎交差点上に待避所を事前に設置することで、交通分散を図り大門原線と県道の原交差点における渋滞対策の工事を実施しました。

農薬散布については、果樹園の関係者と協議し民地側に防薬ネットを設置する予定です。農耕車については、通行の確保を行いながら事前に地元の皆様へ広報をしていきます。皆さんが利用される市道でありますので、相互にご理解とご協力をお願いします。

（市担当課：国県関連事業課）”

- インター入口の原の信号が朝は現在混んでいる。以前から信号があっても事故がありません。道が狭い。1年以上は注意してほしい（座光寺）

C（市役所担当部署からの聞き取り）

（上の回答と重複）県道の改良などに関する要望については現在上がっていない状況です。地区としての意見を取りまとめ、必要に応じて要望等を上げていただきたい。

4 <E>市に申し送るとともに今後市に聞き取りしていくご意見など

※市へ申し送ったのち、聞き取り等の結果に応じて、今後Dとする場合あり

- 羽場大瀬木線開通について、体育館前の渋滞解消されている点は感謝する。しかし、通行車両の速度が上がり非常に危険である、交差点の信号機についても南北方向において右折信号がない、通学路でもあり子どもの安全や接触事故などの危険性もある、スクランブル交差点と右折信号の設置をお願いしたい。（県）
- 弁天橋から県への道路と、151号線八幡交差点について、測量中であるが、できるだけ早く工事をして頂きたい。（松尾）
- 鷺流峡、気賀沢川、内水排除のポンプアップについて、地域計画課と話をする中で、100年・1000年に一度の豪雨が頻発することを考えると、固定式のポンプを検討いただきたい（市の中で解決できる方法を検討いただきたい）（松尾）
- 生活道路整備、井水管理について市としてしっかり対応していただきたい。（県）
- 雨水の排水について、市としては浸透枳をお勧めしているが、豪雨に対応した浸透枳の設置をお願いしたい。（県）

5 <F>その他、分科会のなかでやり取りのあったご意見など

- 地域産業について、座光寺地区は土地がリニア関係、代替地等により農地が少なくなる。農業者の意欲がなくなって、農業が衰退してしまうのではないかと。リニア駅が来ても、地域産業が廃れては何にもならない（座光寺）
- 乗り換え新駅は、いままで造るという計画だった。地元としては乗り換え新駅の設置により上伊那地域との連携していくことが大事だと考えている。市議会はどのような考えを持っているか（座光寺）
- 乗り換え新駅に関して、利用する上伊那や郡南部の人たちの意見を聞いているのか。（上郷）

- 乗り換え新駅は、個人的には反対。大金をかける必要があるのか。元善光寺駅とのアクセス方法を考えたかどうか（座光寺）
- リニアによる環境問題、あかり区間の騒音対策に関して、地元・座光寺の話聞いてくれない。どういうものか（座光寺）
- 上郷や座光寺の地域の皆さんは苦勞している。市議会リニア推進特別委員会の議員は、意見をもっと聞いてほしい（座光寺）
- リニア代替地に関して、移転を余儀なくされるも、(代替地の地価が高く) 折り合いがつかず、豊丘村へ移転した例がある。市議会はこれに対してどう考えるか（上郷）
- リニアの保守基地に道路をつけなければならないため、400メートルにもわたってフードをつけられないという話を、今になって言い出した。5年前にあった話が反故にされた（座光寺）
- スマートインターに期待している。見晴らし、景観を生かし、展望台をつくるなどして、観光や誘客につなげたらどうか（座光寺）
- 観光の三大拠点以上に、リニアを中心とした座光寺上郷の北部エリアに力点をおいた政策、地域振興ビジョンをつくってほしい（座光寺）
- 工業の他に農業に係わる企業が発展できればと思います（座光寺）
- コロナ、7月の雨の災害本当にお疲れ様です。
- 私も出来得るかぎり飯田市のため協力していきます（座光寺）
- リニアの緊急時(400m)の停止区間を含め、フードをすべてかけてほしい。住民の思いです（座光寺）
- 若者が勤められる大きな企業が是非座光寺に来てほしいので、市議会でも力を入れてほしいです（座光寺）
- リニアのフード設置の詳細な情報が、市議に知らされていないことに驚いた（座光寺）
- リニアの環境問題 事業の進捗状況を丁寧に行う。県からの意見を下に出す。美女の信号から上の道が混む(6年間我慢)（座光寺）
- 新駅は必要ないと思います。元善光寺駅があり、駅前をいまいちど活気のある場になって（座光寺）
- 夢のある飯田の街に！地域振興を活発に（座光寺）

議会報告・意見交換会の分科会テーマなどに対して、多くのご意見等をいただきました。今後の委員会において、参考とさせていただきます。また、リニア中央新幹線に関しては、リニア推進特別委員会の調査研究に委ねていきます。

議会報告・意見交換会 産業建設分科会 ブロック別中間報告 【 南部ブロック 】

2020/12/24

飯田市議会 産業建設委員会

1 総括

- ア 今年度7つのブロックで開催した第3分科会、産業建設分科会のテーマや所管する分野等に対して、ご参加いただいた皆様のご意見やご要望は147件ありました。(昨年2019年度は290件)
- イ そのうち竜丘地区、川路地区と三穂地区の南部ブロックでは、17件のご意見・ご要望がありました。
- ウ 南部ブロックの分科会テーマは、「三遠南信道、天龍峡大橋&天龍峡ICから地域振興を考える」を設定して意見交換を行いました。
- エ 天龍峡に関するものを中心に、地域資源や地域振興に対してご意見ご要望をお寄せいただきました。
- オ 分科会でいただきましたご意見につきまして、現在のところ、以下のように分類させていただきました。

A	委員会の所管事務調査として扱うもの、あるいは委員会の調査研究に生かすもの
B	予算審査などにおいて所管部署への質疑などに生かしていくもの
C	市の担当部署へ聞き取りして、回答・報告するもの(中間報告の扱い)
D	市の担当部署へ聞き取りして、回答・報告するもの(年度末報告の扱い)
E	市に申し送るとともに今後市に聞き取りしていくもの ※市へ申し送ったのち、聞き取り等の結果に応じて、今後Dとする場合あり
F	その他、ご意見ご要望としてお聞きしたものの、 分科会のなかでやり取りのあったご意見など

- カ 当委員会では、所管事務調査テーマとして「遠山郷の指定管理施設の運営状況」を集中的・重点的に扱ってきていますが、今年度の議会報告・意見交換会の分科会のブロック別テーマにつきましても、地域の重要な課題として委員会としては捉えています。今回の中間的報告の以降も、委員会における議案審査や協議などを通じて執行機関側や関係機関等へ確認等していきます。

2 <A>及びの扱いのご意見等について

- (「農耕百花から手を引きたい人がいるとの声を聞くがどうか」という問いに対して)風呂には客が来ているが、そば店の従業員が高齢化していることから、3月末までの契約があるが、どうしようかとの声がある(川路)

B(委員会審査等における確認事項)

市有施設の天龍峡温泉交流館ご湯づくりの指定管理に関するご意見と承りました。指定管理にかかる議案審査などを通じて、執行機関側に確認していきます。

- 天龍峡大橋が一望できる所が三穂にある。夜景もいい。これを何とか観光に繋げられると良い。道路なども狭いのでハード整備をして、この場所を活かしたい。
天龍峡大橋を一望する施設整備を、まちづくり委員会でも考えているので、何らかの助成を願いたい。(三穂)

○まちづくり委員会の検討委員会で、川路地区内を見て回り、地区をこうしたい、という話し合いをしている。川路は川も谷もあり道が狭い。

天龍峡大橋の周辺に宿泊施設が欲しい。国定公園で開発は厳しいが、子どもたちが宿泊できる施設の建設はどうか。地区としては希望しているが引き続き検討委員会で研究していく。何か良いアイデアがあればよろしく（川路）

B（委員会審査等における確認事項）

市の観光拠点の一つである天龍峡の活性化、天龍峡大橋を活用した観光振興が推進されるよう委員会としても重要視しています。

3 <E>市に申し送るとともに今後市に聞き取りしていくご意見など

※市へ申し送ったのち、聞き取り等の結果に応じて、今後Dとする場合あり

○三穂の観光につながるための地域振興 I.C の新設を望んでいる。（松尾）

4 <F>その他、分科会のなかでやり取りのあったご意見など

○天龍峡の実情について。GOTO キャンペーンで天龍峡大橋への来客が増えてきた。閑散としている場所は、国から市に貸与となった大きなエリア。毎週土日に「市（いち）」ができ、もてなしができていることもあり、人の動きはある。（川路）

○天龍峡の有志による草刈りや景観を守る活動をしている。その活動中に、観光客との話ができ、歩くルートや天龍峡の見方などを教えることができた。相当数の客が来ていると感じるが、これをどのように地域振興につなげていくかが疑問（課題）。市の観光課とは連携が取れているし人は来ているが、賑わいにつながっているかどうか。これらを総合的に考えられるかどうかが大切（川路）

○中央道開通時には、大変な混雑であったと聞くが、今日的な旅に対する意識に、地域がどう対応できるかが課題。

自分たちの住んでいるところが良い所だと思える自覚を持ちたい。役員自らが天龍峡を歩いて実感して、地域を皆で確認しあっている。これが、観光、まちづくりへと繋がっていくと考えている。（川路）

○竜丘地区は、天龍峡の観光から間接的に潤う地域である。地区としての良い観光資源を開発中。白井川を秘境に位置付けている。地元金もないし、ボランティアにも限界があるが頑張っていきたい。（竜丘）

○地域振興になるような金は落ちないが、古墳の活用が課題。付近は農振地域だが、担い手不足で景観が壊れてきている。（竜丘）

○名古屋から移住してきた人のリードで、ワインのブドウを栽培し、ワインの製造をしようと始めたが、コロナで中断している。

こうした6次産業化をして、天龍峡の観光客を誘引できないかと考えている。（竜丘）

○天龍峡大橋に遠方からの来客に期待するが宿泊施設が少ないので、昼神に行ってしまう。

三穂地区まで天龍峡から5分で来られるので小笠原史料館（小笠原書院）の設計者で世界に売り出し中の妹島和世氏の“記念館”を設置したらどうかとの話が盛り上がりつつあるので、行動を起こしていく計画がある。史料館自体を目的とする来客があるので、これらを結び付けたい。南信州の観光拠点としての構想を練りたい。

小笠原氏の歴史が400年を迎えるので記念イベントを検討中。小笠原史料館は、市からの助成とまちづくり委員会の財源の投入で、順調に管理、整備できている。（三穂）

○地元の人たちが地元を知るとい企画は良い。（竜丘）

○白井川は、ものすごく良い所だと初めて気づいた。地元の人が地元を歩かないといけなと思った。（竜丘）

- コロナ禍による活動も大変かと思いますが、身体に充分気を付けて頑張ってください。(竜丘)
- 市と県との協力。(竜丘)

議会報告・意見交換会の分科会テーマなどに対して、多くのご意見等をいただきました。今後の委員会において、参考とさせていただきます。

- 議会で視察をしているが、地区で参考になる例はあるか。

参考になる例を示していただき、それを共有して意見交換ができると良い。(川路)

議会委員会の所管事務調査に関連して他市等の取り組みや事業を視察しています。いずれの視察先も当市にとって参考になるものと考えています。視察報告は議会ホームページに掲載しております。

- 議会側からわかりやすい方向などをいただきありがとうございました。

過日のまちづくり委員会会長会で議会報告会の在り方に対して苦言を述べた。住民自治と議会制民主主義のなかで、こうした機会を通じて、地域に出向いて住民の声をしっかり吸い上げていただきたい。

今回は動員で役員が参加している。これで、あたかも市民の声として受け止め執行機関にあげていくのでは困る。都計審などの市の会議に出席して思うが、市の意向を聞くままで、市、議会制民主主義、住民自治が遊離してはいないか。

この議会報告会はまちづくり委員会との共催である。であれば、まちづくり委員会と議会とで打合せのうえで開催しないといけないのではないか。川路では市政懇談会の前に地域ごとに懇談会で意見を聞き、その意見を市政懇談会でぶつけている。同じことが議会報告会の開催にも言えるのではないか。まちづくり委員会としても自戒を込めてそう考える。(川路)

貴重なご意見ありがとうございます。次回の開催へ向けて、分科会運営やテーマ設定、議会報告・意見交換会の運営等の参考とさせていただきます。

議会報告・意見交換会 産業建設分科会 ブロック別中間報告

【 竜東ブロック 】

2020/12/24

飯田市議会 産業建設委員会

1 総括

- ア 今年度7つのブロックで開催した第3分科会、産業建設分科会のテーマや所管する分野等に対して、ご参加いただいた皆様のご意見やご要望は147件ありました。(昨年2019年度は290件)
- イ そのうち龍江地区、千代地区、下久堅地区、上久堅地区の竜東ブロックでは、24件のご意見・ご要望がありました。
- ウ 竜東ブロックの分科会テーマは、「三遠南信自動車道、天龍峡大橋から中山間地域の産業振興を考える」を設定して意見交換を行いました。
- エ 天龍峡PA、龍東道の活用など天龍峡に関するもの、中山間地農業に関するものなど、多くのご意見ご要望をお寄せいただきました。
- オ 分科会でいただきましたご意見につきまして、現在のところ、以下のように分類させていただきました。

A	委員会の所管事務調査として扱うもの、あるいは委員会の調査研究に生かすもの
B	予算審査などにおいて所管部署への質疑などに生かしていくもの
C	市の担当部署へ聞き取りして、回答・報告するもの(中間報告の扱い)
D	市の担当部署へ聞き取りして、回答・報告するもの(年度末報告の扱い)
E	市に申し送るとともに今後市に聞き取りしていくもの ※市へ申し送ったのち、聞き取り等の結果に応じて、今後Dとする場合あり
F	その他、ご意見ご要望としてお聞きしたものの、 分科会のなかでやり取りのあったご意見など

- カ 当委員会では、所管事務調査テーマとして「遠山郷の指定管理施設の運営状況」を集中的・重点的に扱ってきていますが、今年度の議会報告・意見交換会の分科会のブロック別テーマにつきましても、地域の重要な課題として委員会としては捉えています。今回の中間的報告の以降も、委員会における議案審査や協議などを通じて執行機関側や関係機関等へ確認等していきます。

2 <A>及びの扱いのご意見等について

- 中山間地域の農業振興の打開策を模索している(上久堅)
- 天龍峡の龍東道について、散策コースから天竜川、そらさんぼが見えない区間がほとんどで残念(龍江)
- 天龍峡PAについて、自動販売機のみ。道の駅、SA、防災拠点として活用したらどうか(千代)
- 観光イコール食と泊と考えている。意味のある観光。お金になる具体的は仕組みづくりが必要と考えるがどうか(龍江)

B(委員会審査等における確認事項)

- ・今後の議案審査や委員会への説明に対する質疑に生かしていきます。

3 <C>市役所の担当部署へ聞き取りしたもの（中間報告の扱い）

- 昨年も出した意見だが（一昨年も出ている）、防護柵の管理について市に協力してほしい。倒木等で苦勞している（千代）

C（市役所担当部署からの聞き取り）

市役所農業課では、防護柵の整備について、設置後の維持管理体制を含め、地元と協議しながら進めてきています。また、広域的な柵の維持管理においては、中山間直接支払制度や多面的機能支払交付金の補助制度を活用し、地元による管理をお願いしています。

柵の管理については、強風等による倒木の対応など大変なご苦勞があると受け止めています。飯田市では、柵周辺の支障木や倒木の恐れのある樹木の対策として、緩衝帯整備事業の実施に向けた検討を今年度より始めています。まず、設置から10年以上が経過している上久堅で相談が始めており、今後他の地区でも相談や対応が進められていきます。（担当課：農業課）

- 看板は国の基準において設置できないと言われている。個人の土地へ私設で設置することはできると思うが費用が掛かる（市の補助制度の情報提供）（龍江）

C（市役所担当部署からの聞き取り）

個人や事業者による看板設置に対しての公的助成はありませんが、グループや団体などが地域振興などの公益的な目的のために設置する場合に対して各種助成制度があります。目的や内容に応じて市役所の担当が異なりますし、設置にあたっては景観などの規制がある場合もありますので事前に市役所へご相談ください。

- 安全・安心な生活環境づくりの道路整備について、とりわけ、災害時の倒木について竜東地区・龍江四区地域は、大雨台風の際には必ず生活道路・幹線道に倒木被害が発生する。今年度も竜東中学校周辺の通学路で4回の倒木が発生、通行止めが2回発生。危険事前伐採をお願いしたい。中電との防災協定・事前伐採なども実施してください（龍江）

C（市役所担当部署からの聞き取り）

地域住民の皆さまのご利用される市道や市有施設などにかかる部分については、市役所の所管部署が対策・対応を取っていきますが、民地の伐採や県道にかかるものは、市役所の所管外となり、個人及び地域などでの対策・対応をお願いせざるを得ないところです。しかしながら、不明な場合などは市役所へお問い合わせください。（市担当課：土木課）

4 <E>市に申し送るとともに今後市に聞き取りしていくご意見など

※市へ申し送ったのち、聞き取り等の結果に応じて、今後Dとする場合あり

- 龍江 IC 出口（残地）に下久堅地区の看板がない。龍江、下久堅、千代3地区の看板を設置したらどうか（下久堅）
- 龍江産業団地の用地について地盤を心配している。造成の方法を変更したらどうか（龍江）
- 龍江産業団地へのアクセス道路の幅員が狭い場所がある（龍江）
- 外からの企業誘致も必要だが、市内の既存の企業も大事にするべき。例えば旭松食品。工場までの道路の幅員が狭い（龍江）
- 天龍峡マルシェを今年も開催するが、天龍峡PAでの開催は国交省から許可が下りなかった。期待していたのに残念だ（不許可の理由を回答）（千代）

5 <F>その他、分科会のなかでやり取りのあったご意見など

- 竜東1万人、竜西9万人。竜東には社会資本が少ない。病院、高等学校もない（龍江）
- 県道一号線の改良促進の要望活動を行っている。力添えをお願いしたい（龍江）
- 産業基盤も弱く、コロナの影響も重なり龍江地区内で商店が閉鎖した（龍江）
- 残地について、私有地になっていないか（龍江）
- 商業を営んでいるが、地域の発展なくして商業の発展はないと考えている（龍江）
- 非日常の中山間地域の活かし方提案として映画の撮影場所やアニメの舞台の誘致はどうか（龍江）
- 農村起業家育成スクール（成果発表会）を産業建設委員会で見に来てもらいたい（龍江）
- いくつかテーマを絞り、事業準備が必要と思った。それによって時間配分も（龍江）
- 荒廃した（放置された）農地の有効活用できる仕組みづくり。
若い人が活躍できる地域を目指したい。
若者の農業への従事推進を！外からの移住がしやすい仕組みに期待します（龍江）
- 地域の身近な課題についての話を聞いて良かった（千代）
- 初めて参加したが、わかりやすい内容で勉強になった（千代）
- 竜東の開発をお願いしたい（下久堅）

議会報告・意見交換会の分科会テーマなどに対して、多くのご意見等をいただきました。
今後の委員会において、参考とさせていただきます。

議会報告・意見交換会 産業建設分科会 ブロック別中間報告
【 飯田5地区 】

2020/12/24

飯田市議会 産業建設委員会

1 総括

- ア 今年度7つのブロックで開催した第3分科会、産業建設分科会のテーマや所管する分野等に対して、ご参加いただいた皆さんのご意見やご要望は147件ありました。(昨年2019年度は290件)
- イ そのうち橋北、橋南、羽場、丸山、東野の飯田5地区では、27件のご意見・ご要望がありました。
- ウ 飯田5地区の分科会テーマは、「中心市街地活性化の具体的な取り組みに関して(中心市街地活性化基本計画を踏まえて)」を設定して意見交換を行いました。
- エ 分科会では、橋南地区から橋南公民館のりんご庁舎建物への移転、賑わいあるまちづくり、都市からの移住などのご意見ご要望がありました。羽場地区と丸山地区は風越山に関して、猿庫の泉のPR強化や登山道整備の要望、プロジェクトの取り組み紹介などがありました。東野地区からは、旧ピアゴの活用に関するご意見、橋北地区からは旧飯田測候所の活用、特に展望台の整備要望などがありました。
- オ 飯田5地区を一つとするテーマ設定が難しかったこと、コロナ対策のために分科会の人数制限もあり、深い意見交換に至らなかったことについては反省し、次期開催の運営へ課題としていきます。
- カ 分科会でいただきましたご意見につきまして、現在のところ、以下のように分類させていただきます、今後整理まとめをしていきます。

A	委員会の所管事務調査として扱うもの、あるいは委員会の調査研究に生かすもの
B	予算審査などにおいて所管部署への質疑などに生かしていくもの
C	市の担当部署へ聞き取りして、回答・報告するもの(中間報告の扱い)
D	市の担当部署へ聞き取りして、回答・報告するもの(年度末報告の扱い)
E	市に申し送るとともに今後市に聞き取りしていくもの ※市へ申し送ったのち、聞き取り等の結果に応じて、今後Dとする場合あり
F	その他、ご意見ご要望としてお聞きしたもの、 分科会のなかでやり取りのあったご意見など

- キ 当委員会では、所管事務調査テーマとして「遠山郷の指定管理施設の運営状況」を集中的・重点的に扱ってきていますが、今年度の議会報告・意見交換会の分科会のブロック別テーマにつきましても、地域の重要な課題として委員会としては捉えています。今回の中間的報告の以降も、委員会における議案審査や協議などを通じて執行機関側や関係機関等へ確認等していきます。

2 <A>及びの扱いのご意見等について

- そらさんば天龍峡について、売店も何もない、経済効果を考えるべき、お金を落とす方法を考えてほしい、観て終わりではダメ(東野)

B(委員会審査等における確認事項)

- ・今後の議案審査や委員会への説明に対する質疑に生かしていきます。

3 <E>市に申し送るとともに今後市に聞き取りしていくご意見など

※市へ申し送ったのち、聞き取り等の結果に応じて、今後Dとする場合あり

- 橋南公民館移転について、りんご庁舎3階へ移転できないか。人の賑わいをつくってほしい。子ども、人の声ができる中心市街地をお願いしたい（橋南）
- 旧ピアゴについて、丘の上に高校が無くなったので、人が少なくなった、ピアゴ内に学生の寄れる場所をお願いしたい（東野）
- 飯田市図書館について、駐車場がなく使い勝手が悪い（羽場）

4 <F>その他、分科会のなかでやり取りのあったご意見など

- コロナ禍において、都会から地方へという要望の受け皿になっていきたい、都会の方は車を持っていないので、交通の便の良い中心市街地が良いと考える。メリットがある（橋南）
- 地元の良い所の宣伝について、羽場は「猿庫の泉」の開発をしている「猿庫の泉愛護会」がある。日曜日の野点には県外からお客様が来る（10～30人）。市の協力のもと実施しているが、宣伝PRをお願いしたい（羽場）
- 旧ピアゴについて、吉川建設が地元の要望（食品系のスーパーなど）を聞いてくれた。有難い（東野）
- 旧飯田測候所について（第3期中心市街地活性化基本計画について）、プロジェクト会議を立ち上げ意見を出し合っている（イルミネーションの点灯もしている）（橋北）
- 旧飯田測候所へ家族連れが多いが耐震性が悪く登れない、展望台として活用したい（橋北）
- 旧飯田測候所は、遠足の場所になっているので、今後はガイドを置いたり、機器の展示をしたい（橋北）
- 春草通り、春草公園、測候所、りんご並木これらを周遊させたい、協力いただきたい（橋北）
- 飯田警察署の建て替えについて、免許センター併設し、現地建て替えをお願いしたい（橋北）
- 風越山を高尾山のようにしたらどうか。風越山に人を入れようと「わくわくプロジェクト」を立ち上げた。登山道途中で桜を植えたが育たないので、ブルーベリーを育て、キノコも打っている。風越山へ来た人が何かもらえる物があればと思いついて活動している。NPO化の話も出ている（丸山）
- 「風越山を愛する会」でガイドの育成を考えている（丸山）
- （風越山の活用などに関して）様々な面で市の協力をお願いしたい（丸山）
- 旧ピアゴと飯田文化会館について具体的にはどこまで決まっているのかお聞きしたい（丸山）
- 風越山は飯田市のシンボルである、猿庫の泉からの登山ルートがほとんど使えない、整備をして多くの市民に登ってほしい（羽場）
- 旧ピアゴの件について、5地区としては1階のスーパーと、2階を憩いの場としてお願いしている。東野としては、スーパーが欲しいという要望をしている（東野）
- 旧ピアゴの件について、橋北市民は新聞報道等で知っていると思うが、5地区全体での説明は聞いていない（橋北）
- テーマについて、5地区全体に関する意見交換が必要。（テーマ設定）（橋南）
- 当該地区の説明要望に終始している。テーマになっていない（橋南）
- 意見の求め方が少し違うように思う（丸山）
- 各地区・街づくり委員長に話を振ったが、意見がテーマと違っている。
テーマを上げてそれに対しての意見をもらったほうが良かったのではないかと。（丸山）
- 飯田市で作るもの、何にしても駐車場が少ないか使い勝手が悪い。箱物だけでなく使い勝手まで考えて取り組んでください（東野）

- 第3分科会のテーマ「リニア・三遠南信時代を見据え」の、テーマに沿った内容の意見が少なく、各地区の状況ばかりでまとまりない内容であった（橋南）
- ピアゴの資料をはじめて見ました。内容は知りませんでした（事前に市からの話なし）（橋南）
- ピアゴの良さは地下駐車場があったこと。駅前プラザも地下駐は残し、周辺の土地も駐車エリアとして一体化したプラザにしてほしい（橋南）

議会報告・意見交換会の分科会テーマなどに対して、多くのご意見をいただきました。今後の委員会において、参考とさせていただきます。